

# 坂井市議会だより

6月定例会



坂井市

第41号

2016. 8



表紙：15万輪のゆりが咲き誇る「ゆりの里公園」

## 主な内容

議長・副議長あいさつ	2	広域連合・一部事務組合報告	4
議会構成	3	常任委員会報告	5~7
補正予算概要	3	一般質問	8~15
9月定例会会期日程のお知らせ	3	議会報告会報告	16
定例会審議結果	4		



長畝小学校 6年

南部 文音さんの作品です。

「坂井市議会だより」  
の題字は、



## 議会の構成



総務常任委員会

○議会運営委員会

【委員長】田中哲治 【副委員長】辻 人志  
南川直人 戸板 進 上出純宏 佐藤寛治  
松本 朗 東野栄治 川畑孝治 橋本充雄

○予算特別委員会

【委員長】田中千賀子 【副委員長】吉川貞明  
議長を除く全議員



教育民生常任委員会

○総合交通対策特別委員会

【委員長】永井純一 【副委員長】後藤寿和  
川端精治 前川 徹 戸板 進 吉川貞明  
東野栄治 辻 人志 畑野麻美子 山田 栄  
広瀬潤一 田中千賀子

○本庁舎整備特別委員会

【委員長】橋本充雄 【副委員長】上坂健司  
小原慶之 渡辺竜彦 南川直人 上出純宏  
田中哲治 佐藤寛治 松本 朗 川畑孝治  
前田嘉彦 木村 強



産業建設常任委員会

## 平成28年度 一般会計6月補正予算概要

補正額 **2,640万円** (補正後の額 409億4,640万円)

### 主な事業

◆シティセールス事業 2,250万円

坂井市アンテナショップの運営や、えちぜん鉄道駅名変更による沿線ブランド化、パイプラインの恵みによる美味しいお米のPR事業。

◆強い農業づくり事業 △2億8,744万円

事業の実施取り止めに伴う減額。

◆道路改良事業 1億2,000万円

市道の拡幅、舗装、道路側溝などの工事を実施。

◆小学校管理事業 2,120万円

強風と雨のために破損した小学校施設の修繕、磯部小学校旧体育館と新体育館の通路設置工事の実施。

◆体育施設管理事業 4,667万円

丸岡スポーツランドの駐車場不足を解消するための新たな駐車場整備。

### ●議会を傍聴してみませんか● ★9月定例会会期日程(予定)

9月9日(金) 本会議(行政報告・議案説明など)	9月23日(金)・26日(月)・27日(火) 各常任委員会
9月20日(火)・21日(水) 本会議(一般質問)	9月30日(金) 本会議(委員会報告・採決など)

※ 予定ですので、今後変更になる場合があります。あらかじめご了承願います。

お問い合わせ先 TEL 50-3001 議会事務局

## 議長・副議長あいさつ



ご挨拶

議長 伊藤 聖一

このたび、議員各位のご推挙により、議長に就任させていただきました。また、もとより浅学非才の身ではありますが、その職責の重要さを自覚し、坂井市の発展のために、全力を尽くす次第でございます。

二元代表制の一翼を担う議会が、求められる役割を果たす上で最も重要なことは、議会や議員が住民の方から十分な信頼を得ているかどうかだろうと思えます。最近では、地方議員による不祥事が多発し、地方議会の信頼が大きく揺らいでいます。大変憂慮すべき事態だと感じています。

地方分権は10年前と比べれば、驚くべきほど進展してきました。各自治体が主体的に、住民の皆さまの幸せのために、限られた財源・資源の下、工夫を凝らして事業を推進して

いかなければならなくなってきたと思います。顕著な例が、地方創生総合戦略ではないかと思えます。

近年議会に求められているのは、行政側の示す方針を確認することから、より最善に近づけるために考え・行動することへと変貌していると実感します。地方分権時代における議会の新たな役割は、皆さま方からの信頼なくして機能できないのだろうと感じております。

より高い信頼される議会となるために、議長として何をなすべきなのかを強く意識し、職務に取り組んでまいります。今後とも皆さまのご指導とご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。



ご挨拶

副議長 古屋 信二

このたび、坂井市議会副議長に選任いただきました。微力ではありますが、議長を補佐し、円滑で公正な議会運営に努め、坂井市のさらなる発展に向けて取り組んでまいります。

本年は4町合併から10年の節目を迎える中、地方創生に向けた本格的な取り組みが始まるスタートの年でもあります。

そこで問われることは地方の知恵と創意工夫、そして責任をもって施策を前に進める実行力であります。

そのため、私たち議会の果たす役割と責任はますます重要になってきてまいりました。

また、全国の議会改革度調査において、坂井市議会は全地方議会の約82%にあたる1460議会中483位であります。

上位にはあるものの、坂井市は「住みよさランキング」においては全国五位にランクしており言うに及ばないものがあります。

今後も「情報の共有化」「住民参加」「機能強化」を積極的に推進し、不断の議会改革に努め、より活発な議論を展開しながら、市民に身近で分かりやすい議会を目指し、なお一層の努力を尽くしてまいります。

皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。就任のごあいさつといたします。

# 総務常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 総務部

- 問** 18歳選挙の啓発について。  
**答** 市内4つの大型店で街頭啓発を行う。また、市内の高校に出向いて、啓発を行っている。  
**問** 坂井市公共施設等管理公社と丸岡文化財団の方向性について。  
**答** 平成29年4月に文化財団と公共施設等管理公社を統合して城周辺や関連したソフト事業などを一層充実させる考えである。

### 総合政策部

- 問** コミュニティ助成事業の既決予算額に対して補正予算が4倍になっている理由について。  
**答** 宝くじの財源を基にするもので、27年10月頃に申請をして、28年度に入ってから2件が採択となったため補正となった。  
**問** アンテナショップに戸越銀座商店街を選定した理由について。  
**答** 情報発信ということで、この商店街には毎週のようにテレビ取材が入るため、メディアを活用して坂井市を全国に発信していく。また、最近では多くの観光客も集まっている。  
**問** 女性の活躍推進について。  
**答** 女性活躍推進法では、女性が自らの意思により職業生活を営み個性と能力が十分発揮されていくことが重要となっている。  
**問** ポート収益金還元特別事業のまちづくり協議会での事業計画について。  
**答** いろんなイベント、防災、新たな町おこしなど、市民全体が市制10周年を身近に感じるまちづくり協議会の事業として行っていく。

### 財務部

- 問** 本庁舎整備基本計画検討委員会の委員と開催日程について。  
**答** 福井工業大学から建築と都市工学が専門の先生2名と各地区のまちづくり協議会から1名ずつ、社会福祉協議会、商工会、文化協会、さかい男女共同参画ネットワーク、坂井青年会議所、三国・芦原・金津青年会議所から各1名の計12名を予定しており、7月末から開催予定である。

- 問** 庁舎建設において安全性などの指標を持つべきでは。  
**答** 防災拠点としての強度についても設計方針の付属部分で定めているので、それを示しながら議論を進めたい。  
**問** まちづくり整備基金の現況と今後の運用計画について。  
**答** 現在9,000万円の残高となっているが、基金残高や事業の中身を考慮しながら充当できるものについては考えていく。

## 請願

### 請願

請願第2号	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	採択
-------	--	----

### 〈主な意見〉

- 核の傘に依存した安全保障政策から脱却することは自国の安全保障とイメージが変わるので、この内容では賛成しかねる。
  - 核の傘という部分では、そうかもしれないが、現状を鑑みた場合、この安全保障から脱却するというのは非常に危惧される。
  - 核の傘に関連する部分を削除するなら採択でもよい。
  - 世界から核兵器をなくしてほしいという思いを議会が政府に対してものを言うことは意義がある。
- \* 発議第6号にて請願をもとに一部修正して意見書を提出。

請願第3号	県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願	不採択
-------	---	-----

\* 参考人を招致し説明を受け審査

### 〈主な意見〉

- 敦賀駅の利便性を考えるべきとの趣旨なら敦賀駅を使いやすく改修すれば良い。
- 新幹線が走ることで新快速が走るようになれば関西方面へは特急がなくても大丈夫ではないか。
- 新幹線と特急両方が走っている方が無駄が多い。

# 定例会審議結果

★6月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 —…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	議席																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
報告第1号	平成27年度坂井市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	平成27年度坂井市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成28年度坂井市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	坂井市まちづくり整備基金条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	坂井市雇用促進住宅駐車場条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	土地の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	坂井市防災行政無線同報系整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	三国運動公園多目的競技場改修工事(土木)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	三国体育館耐震改修工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	(仮称)坂井市みくに市民センター建設工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	(仮称)坂井市みくに市民センター建設工事(機械)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	(仮称)坂井市みくに市民センター建設工事(舞台設備)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	市営住宅江留上団地3号棟総合リフレッシュ建築工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第3号	県民の利便性を最優先に、特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続を求める意見書採択のための請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第4号	TPP協定を批准しないよう求める意見書提出についての請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情第1号	農業政策に関する要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	地域まちづくり特別委員会廃止に関する決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第6号	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第7号	農業政策に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第3号	公平委員会委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議席			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	

# 広域連合・一部事務組合報告

## 福井県後期高齢者医療広域連合

- 平成28年2月：第1回臨時会
  - 平成27年度 一般会計補正予算 他3件が可決
- 平成28年3月：第1回定例会
  - 平成28年度 一般会計予算 他5件が可決
- 主な議案
  - 平成27年度 特別会計補正予算
  - 平成28年度 特別会計予算

## 嶺北消防組合

- 平成28年3月：第1回定例会
  - 平成28年度 一般会計予算 他6件が可決
- 主な議案
  - 平成27年度 一般会計補正予算
- 平成28年5月：第2回臨時会
  - 平成28年度 一般会計補正予算 他4件が可決

## 福井坂井地区広域市町村圏事務組合

- 平成28年3月：第165回定例会
  - 平成28年度 一般会計予算 他4件が可決
- 主な議案
  - 平成27年度 一般会計補正予算

## 越前三国競艇企業団

- 平成28年3月：第1回定例会
  - 平成28年度 事業会計予算 他2件が可決
- 主な議案
  - 福井県市町総合事務組合規約の変更について

## 五領川公共下水道事務組合

- 平成28年3月：第96回定例会
  - 平成28年度 下水道事業会計予算 他5件が可決
- 主な議案
  - 平成27年度 下水道事業会計補正予算

# 産業建設常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 産業環境部

**問** 新規就農の経営支援について、家族で移住している方に対する市の生活支援はないのか。

**答** 就農の準備、就農時の経営支援とあわせて、市の空き家を利用した場合は家賃を補助している。生活支援策は、一般的な転入者との公平性の問題もあるので、十分調査して検討していきたい。

**問** 市雇用促進住宅駐車場条例の廃止について、廃止後の駐車場の活用方法は決まっているのか。

**答** 1件は、個人から借り上げていたもので、契約についてはすでに合意解約している。もう1件は、売却なり他の利活用など検討していきたい。

**問** ゆりの里公園再整備について、ゆりの園場も管理する指定管理者と、レストランや直売所を運営する新しい会社との関係はどうなるのか。

**答** 現在の指定管理の契約が平成30年3月までであるため、今後両者と協議し、運営方法などについて検討していく。

**問** 7月にオープンする竹田農山村交流センター「ちくちくぼんぼん」の準備状況について。

**答** 職員研修、類似施設の視察などを経て準備を進めてきたが、十分な営業活動ができなかったのが現実である。今後積極的にプロモーション活動を行ってきたい。

**問** 三国の海岸と川のゴミ対策について、嶺北各地からゴミが流れ着くことへの対策は。

**答** 海岸への漂着ゴミは、かねてからの問題として認識している。これらのごみは、上流から流れ着いた家庭ごみが多いことが判明しており、今後、国や県、流域自治体からなる連絡協議会の中で、流域全体の取り組みなどについても呼びかけていきたい。



▲九頭竜川下流河岸に打ち上げられたゴミ

**問** 外国人(漁業)研修生を受け入れる場合の支援制度について。

**答** 外国人研修生は労働者ではないため、就労に関する支援制度はない。しかしながら、漁業後継者が不足している現況に鑑み、今後研究を進めていく。

**問** 平成27年度の有害鳥獣の農作物被害状況は。

**答** イノシシは約8.5ha、120万円相当、ハクビシン・アライグマは0.97ha、13万8千円相当、カラスは2.68ha、220万円相当の被害である。

### 建設部

**問** 下水道の現在の整備状況について。

**答** 平成27年度末、人口に対する公共下水道普及率は96.07%で、平成26年度と比べて0.2ポイントの増。概ね平成32年度で完成する。

**問** JR春江駅整備計画について。

**答** まずは、駅舎を先行して整備を進め、周辺整備については今後検討していく。

**問** 木造住宅の耐震補助申請の状況について。

**答** 当初の募集枠は7件であったが、地震の影響で関心が高まっており、県と協議して3件追加し、10件分の補助金を確保している。現在も相談が寄せられており、県に引き続き募集枠の増を要望している。

## 請願・陳情

### 請願

請願第4号	TPP協定を批准しないよう求める意見書提出についての請願	不採択
-------	------------------------------	-----

### 〈主な意見〉

・政府は農林水産分野重要5品目の聖域に対して、守っていると理解しているし、米の輸入枠についても今は備蓄を増やすだけで、消費に関わる米の生産は変わらないと聞いているため、この請願内容については反対である。

### 陳情

陳情第1号	農業政策に関する要請	採択
-------	------------	----

### 〈主な意見〉

・請願第4号と似てはいるが、農民を守る、農地を守るという観点が強く出ており、自身も努力をしながら政府にも訴える内容となっている。

また、TPPに対して国の説明責任、そして万全な対策を講ずることという、前向きな要請であり、農地を守り、日本の国土を守るという視点での考え方から賛成である。

# 教育民生常任委員会報告

## 主な質疑内容

### 市民福祉部

**問** 各コミュニティセンターに設置してあるカラオケを使用して、健康体操教室を増やす考えは。

**答** 平成28年度は、健康体操の教室数を増やしており、昨年より申込者も参加者も増加している。

**問** 保育業務支援システム導入について。

**答** 児童台帳や保育計画の作成など、運用面を支援するソフトおよびパソコン購入に要する経費である。

**問** 保育業務支援システム導入に伴う保育士の事務負担について。

**答** 事務量が増えるとは考えていない。

**問** 保育園などでの事故防止用ビデオカメラ設置の運用基準について。

**答** 運用基準は特に決まっていないが、事故が起きた場合の原因究明を行い、今後の事故防止回避に努めたい。

**問** 5月に開所した三国病院病児病後児保育施設の利用状況について。

**答** 延べ12名が利用している。

**問** 子どもの定期健診について。

**答** 市が一括して実施している健診は、1歳6か月と3歳児で、年間22回実施している。

**問** 新たに設置された福祉総合相談室の相談内容について。

**答** 生活保護、生活困窮者、離婚問題、DV問題などの相談のほか、一人親家庭の支援を行っている。

### 教育委員会

**問** 学校施設の維持管理指導について。

**答** 学校では管理マニュアルが整備されている。

**問** 魅力ある学校づくり調査研究事業内容について。

**答** 不登校についての取り組みを検証する事業である。

**問** 春江中学校グラウンドにおける砂の舞い上がりの解決方法について。

**答** 芝を張る方法も考えられるが、授業などに支障をきたすので、従来どおり散水ポンプを使うので対策をとりたい。

**問** 一筆啓上日本一短い手紙の館利用状況について。

**答** 平成27年度の入館者は1万2,433人となり、今後、丸岡城からの入場者を増やすようPRに努める。

**問** 教師の負担軽減について。

**答** 小中学校ごとの校長会において協議し、報告を受けることになっている。

**問** 中学校吹奏楽部楽器の充実について。

**答** 平成25年度より順次楽器の整備を進めている。

### 三国病院

**問** 三国病院医師・看護師など、職員の対応について。

**答** 接遇を含めた研修会を実施している。「お客様満足度調査」では、外来患者の80%以上の方から満足であると回答を得ている。



▲平成28年4月から(福)和愛福祉会が運営する病児病後児保育施設(丸岡町吉政)

市の震災・災害時の対応および庁舎のあり方について

問 坂井市役所本庁舎は、耐震性に問題はないのか。  
また、新耐震基準を満たしているのか。

市長 建築基準法が昭和56年に改正され、本庁舎、多目的研修集会施設、別館、防災センターおよび坂井健康センターについては、法律の改正後の新耐震基準を満たしていることから耐震性は備えているものと考えられるが、西館および第二別館については法律改正前の建物であるため、耐震性は備えていないと考える。

また、IS値に関しては、今後の建物診断業務の中で算定していききたいと考えている。

問 市の震災・災害時の業務継続計画(BCCP)は、どのようにしているのか。

市長 市の震災・災害時の業務継続計画は、市全域に被害が及ぶような震災時に優先度の高い通常業務に対して、必要な職員・設備・機材などを集中的に投入して、実施すべき業務立ち上げ時間の短縮、業務レベルの低下の抑制を図ることにより、市民の生命、身体、財産を守るとともに、市民生活や経済活動などへの支障を最小限にとどめ、災害からの早期復旧に努めることを目的に今年3

月に策定した。

本年度大幅な組織改革や、4月の熊本地震を踏まえ、見直しが必要であると考え、この業務継続計画については、早急に見直しを行うべく考えである。

問 今回の熊本地震で5つの市町の庁舎が、震災により使用できなくなつた。

改めて庁舎の本来持つべき機能は何かと考えさせられたが、災害・震災時における庁舎の果たす役割についての考えは。

市長 地域防災計画において、本庁には災害対策本部、各支所には現地災害対策本部を設置し、その機能を果たすことになり、災害応急対策や非常時優先業務を執行する役割を担うこととなっている。



▲坂井市役所

※IS値…耐震指標の略称

渡辺 竜彦

防災対策について

問 地域における共助意識をどのように浸透させているか。

総務部長 共助において中心となるのが行政区であり、地域の自主防災組織であることから、区長会を通して防災講座や研修会の実施・受講および自主防災組織の結成・育成をお願いしている。

日頃から顔見知りの地域住民が協力し合える環境をつくりだし、共助意識の浸透を図っていききたい。

問 避難所における防災倉庫の整備は完了しているのか。

総務部長 防災倉庫は、市内全小学校19カ所と竹田農山村交流センターに整備済みである。

今年度市内5カ所の中学校に設置することによって、市内すべての指定避難所に防災倉庫の整備が完了する。

問 災害時にペットと同行避難することは、動物愛護の観点のみならず、放浪動物による人への危険防止や生活環境保全の観点からも必要な措置と考えるため、防災訓練にペットと共に参加することを促していくべき。

総務部長 環境省が作成したガイドラインなどを参考にして、ペットも一緒に避難することを想定した防災訓練を検討していきたい。

大規模災害の発生を想定した応急仮設住宅建設用地の候補地を選定しているか。

総務部長 三国運動公園の野球場や陸上競技場、丸岡運動公園グラウンド、春江東部・北部のグラウンド、坂井グラウンドなどを候補地として想定している。

特定外来生物について

問 5月〜7月にかけて繁殖する特定外来生物のオオキンケイギクについて、市民に周知して駆除すべきと考えるが、必要な対策を講じているか。

産業環境部長 オオキンケイギクが特定外来生物であることを広報紙やホームページ、回覧などで市民に周知するとともに、地域の清掃活動などにおいて駆除していくよう呼びかけていくよう広く呼びかけていきたい。



▲特定外来生物のオオキンケイギク

※特定外来生物…外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの。

辻 人志

景観条例によるまちづくりについて

問 丸岡城天守の国宝化に向け、城周辺特定景観計画区域において、武家屋敷や町屋など、どのような景観誘導を行うのか。

市長 景観誘導を図るために補助制度を設けており、継続して住民への周知を図っていく。

また、消火器のホース格納庫など、色の塗り替えや、景観に配慮した施設にすることは、必要であると考慮しており、今後誘導していききたい。

建設部長 景観を守るため、個人の財産と行政的な規制に関しては、説明会などを開き、景観整備を進める上で、住民とのコンセンサスを図っていききたい。

問 太陽光発電において、豊かな自然環境の田園風景を損なわないような設置が求められるが、今後の指針はどうか。

市長 計画予定地により、農地、森林、環境などの法令に適合する必要があるが、1000平方メートルを超える規模の場合は、景観条例により届け出が必要であるが、景観法では規制することは、困難である。

しかし、坂井市は特に観光のまちであるので、その判断は、十分検討



▲お城ブームの中出版されている歴史関連書籍「発行所 株式会社ウェッジ」

南川 直人

していくべきであると考え。

問 北陸新幹線から見えるであろう丸岡城について、市の景観ポイントとして活用できないか。

市長 北陸新幹線ルートから丸岡城までは、最短で約1.7キロメートルあり、その付近からは、見える状況である。

坂井市百景の登録を検討し、眺望ポイントについても調査したい。

産業環境部長 丸岡城が、10数秒は乗客の方に見てもらえるので、JR西日本と交渉しながら「見えますよ」というアナウンスを車内で流してもいいような宣伝もできればと考えている。

副市長 今後、新幹線の試運転で騒音調査をする中で、丸岡城が見えるように防護壁を作らないような要望をしていきたい。

坂井市インバウンド事業について

問 今回「越前加賀インバウンド推進機構」が設立されたが、以前の「越前加賀宗教文化街道祈りの道」推進協議会との違いはどこにあるのか。

市長 推進協議会は、構成市町である坂井市、あわら市、勝山市、永平寺町および加賀市に点在する宗教文化資源を結び付けて、宗教文化に特化した広域な観光ルートを確立し、その資源の魅力向上と情報発信により、首都圏の熟年世代をターゲットに観光誘客を図るものであった。

越前加賀インバウンド推進機構は、今までの協議会で構築した観光ルートや観光資源に加え、付加価値の高い「食」や「温泉」、さらに「自然の造形美」などの観光資源を生かした圏域にしかない魅力的な観光ルートを造成するとともに、共同プロモーション活動や、福井港、小松空港などの交通拠点を生かした旅行商品を積極的に提供し、首都圏のほか、今後も大幅な増加の見込める海外からの観光客の誘客に力を入れた施策を展開する。

問 シティセールス事業の推進について

戸板 進

インバウンド推進機構との連携について。

市長 越前加賀インバウンド推進機構において策定される事業計画を尊重しつつ、自然、歴史、文化など、この圏域のすばらしい魅力のもとに、圏域内の観光資源はどのような階層をターゲットとするのか、また、類似の観光資源や観光地と比較し、何をポイントとするべきなのかなど、戦略的なプロモーションの方について、5市町のエリアの中で、坂井市が持つ魅力をより引き立ててPRしていきたいと考えている。

産業環境部長 坂井市だけでは知名度が低いので、5市町が持つ自慢のものをもち寄って、大きなエリアで、国外にPRしていく。



▲外国人観光客用丸岡城紹介映像翻訳シート

※インバウンド…外国人の訪日旅行

坂井市のゆるキャラについて

市には公認されていないゆるキャラが何体いて、どの団体のキャラクターなのか把握をしているのか。

**総務部長** 花咲ふくい農業協同組合の『花咲みのりん』坂井市商工会青年部の『辛味ちゃん』丸岡観光協会の『城丸くん』竹田の里づくり協議会の『たけだ桜ちゃん』越前三国競艇企業団の『力二坊』が、それぞれの取り組みを通して、市の魅力発信のために活動していることを承知している。

**市公認のゆるキャラを導入させて、市認知度アップに利用すべきと考えるが市の見解はどうか。**

**総合政策部長** 市民から愛されるキャラクターは、市の魅力発信に有効なものであると考えている一方で、まちおこし団体やまちづくり協議会で地域住民がデザインしたかわいらしいキャラクターが誕生している。地域に根差した、地域住民に愛されるようなゆるキャラを、市としてもバックアップし、『住民と行政の協働による個性と活力あるまちづくり』を今後とも推進していく。

地域防災について

**災害が起きた時に支援物資などを貯蔵する場所は決まっているのか。**



写真上「辛味ちゃん」  
写真左「城丸くん」  
写真右「たけだ桜ちゃん」

などを行うための集積・配送地点としては、坂井体育館を設定している。

**災害が起きてから国や県の輸送道路は決まっているが、市として一番に輸送する市道は計画の中で決まっているのか。**

**総務部長** 市道については検討しているところである。  
**地域の自主防災組織の現状は。**

**総務部長** 市内441の行政区に対して256の行政区が自主防災組織を結成しており、結成率は58・1%である。

**防災リーダー育成などのセミナーなどに対しての補助金はでないのか。**

**総務部長** 防災セミナー参加などに対する経費は対象となっていない。しかしながら、県や市では防災組織リーダーや防災士などを対象とした育成研修や講習会を実施している。希望する受講内容などがあれば、研修講習会の開催を検討していく。

後藤 寿和

高齢者の生きがい対策について

**老人クラブの加入率の推移・年数分布は。**

**また、未加入の集落はあるのか。**

**市民福祉部長** 現在会員は4929名で加入率16・2%。単位クラブ数は87である。  
4年前の平成24年度と比較して1401名の減、加入率は4・4%の減。単位クラブ数も8クラブの減である。年齢分布は60歳から64歳は1・2%、65歳から69歳は3・5%、70歳から74歳で14%、75歳から79歳で26%、80歳以上では55%で、60歳代が低く、会員数の半数は80歳以上である。  
また、老人クラブに加入していない集落は、約440集落のうち110集落で、全体の25%である。

**深刻な老人クラブ会員数が減少の中、老人格差をどう捉えているか。**

**市民福祉部長** 仕事や趣味および地域の関わりが薄い場合には、社会との関わりの観点で格差があるようである。

**老人クラブは高齢者の魅力の視点でどうか。**

**市民福祉部長** 社会交流の点で大変魅力があるので、今後も、老人クラブ自身の創意工夫による活動内容を充実させていくことを期待したい。



▲市老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

手紙文化を

日本一のまちに

**市民の手紙文化をどう捉えているのか。**

**教育長** 一筆啓上日本一短い手紙の館において、手紙を書くことへの興味を高め、文字・文章を書くことを進める機会を持ってもらい手紙文化を浸透させたい。

**7月23日（ふみつき ふみのひ）を坂井市の日に制定しては。**

**教育長** 手紙文化の発信方法の工夫や身近に手紙文化に触れることができるまちとして、今後検討する。

**市民の手紙文化創造のため、市の特色をテーマにした取り組みは。**

**教育長** 課題は多いが、手紙の良さや市の宝の再発見につながるのがあるので、いいものがあれば見つけていきたい。

上坂 健司

三国駅前整備計画の進め方について

**平成27年度、市は三国地区の公共施設再整備のあり方を明確にした。すでに、三国運動公園健康管理センターの改修工事は始まり、年明けには三国保健センターも入る予定となっている。**

**支所機能と演劇仕様の階段固定席を持ったホールの複合施設（仮称）みくに市民センターは、諸団体の意見をくみ取って設計され、間もなく槌音を聞くところになっている。**

**議会報告会や各種団体の総会などに出席し、地域の方々と意見交換をする中、中でも三国駅前に質問が集中し、関心の高さを伺わせる。**

**現段階で三国駅舎について、市長が描くイメージは。**

**市長** 京福三国駅ビルは市が買い取り、内部の店舗と協議を進め、順次移転している状況である。  
新駅舎のデザインは、三国湊地区の風情に似合う和風の建物をイメージするが、旧国鉄三国駅の復刻も考えられる。

**三国駅前整備計画は、どう進めるのか。**

**市長** 現三国コミュニティセンター



▲整備が今後進められる三国駅舎

上出 純宏

のみくに文化未来館への移転を含めた駅前全体の再整備計画については、これから地元の意見を聞きながら決めていきたい。

**えちぜん鉄道三国駅からみくに龍翔館、三国北小学校へと続く「えっせる坂」は観光道路であり、通学路でもあるが、三国駅前整備計画の中に組み込まれるのか。**

**市長** 「えっせる坂」は市道三国200号線として供用開始から20年を経過しているので、この機会に整備を検討したい。

坂井市ブランドについて

**農林水産品や市内で関わりのある製品など、坂井ブランドとして認定し、子どもたちや市民に知らせ、市の良さを誇りに思ってもらい、市内外に情報発信をしては。**

**産業環境部長** 農林水産、商工会など、市内産業界で生産または製造される付加価値の高い産品を、広報紙やホームページを通して、子どもたちをはじめ市民に紹介し、市の各産業に対する理解を深め、郷土に誇りや愛着を持ってもらうことに努める。  
また、坂井市商工会が食文化のブランド化を目指す「うららの極味膳推進事業」を支援している。

高齢化対策について

**ショッピングセンターやスーパーなどに、高齢者が気軽に健康や介護に関する相談ができる、保健室のような相談窓口を設置できないか。**

**市民福祉部長** 平成28年4月から日常生活圏域ごとに民間事業所に委託している地域包括支援センターで対応したい。

**一人暮らしの高齢者数や、高齢者のみの世帯数は。**

**市民福祉部長** 75歳以上の一人暮らしは1993人、65歳以上のみ複数で構成される世帯は約3000世帯である。  
**高齢者の一人暮らしや、高齢者のみの世帯の対策として、緊急通報装置があるが、実情と対応は。**

**市民福祉部長** おおむね65歳以上のひとり暮らしで健康上の不安があり、定期的な安否確認と緊急時に速やかに対応することを目的に緊急通報装置の貸与を行っており、現在166名の方が利用している。  
ホームページや各支所にチラシなどを置いてあり、民生委員や見守りする人に周知しているが、周知方法を検討したい。



▲緊急通報装置

川畑 孝治

福井しあわせ元気国体について

**副市長** 福井しあわせ元気国体が開催されるに当たり、市独自の国体用のパンフレットはどのようなものを用意しているか。

**教育部長** 市で国体競技を実施するということをPRするだけでなく、市を全国にアピールする大きなチャンスである。

そのため、国体に向けたものだけでなく、国体開催後に競技者や観戦された方々が、地元に戻ってから、再び家族や大切な人と一緒に訪れたいと思ってもらえるようなパンフレットにしたいと考える。

また、市のおいしい食の紹介や観光名所、宿泊施設などを紹介し、市ならではの心な心が詰まった「坂井市競技会場周辺ガイドブック」を作成していきたい。

坂井市商工会や坂井市観光連盟などの関係機関と密に連携をとりながら内容について、検討していきたい。

あわら市との広域連携について

**副市長** 6月定例会の補正予算に坂井あわらエリア周遊滞在型観光推進の事業負担金が計上されているが、あわら市とのように連携していくのか。

県内6つのエリアで構成し、観光地間や周辺の観光資源を結びつけるとともに、二次交通を充実するなどし、広域的な周遊・滞在型観光エリアを創出し、誘客や観光消費額の拡大を図るものである。

具体的な事業計画については、平成28年度から策定していき、北陸新幹線敦賀開業に際し、芦原温泉駅が福井県の北の玄関口としての観光案内所の運営、手荷物預かり、配送サービスの実施、二次交通アクセスの整備などが連携事業として挙げられると考える。

観光施策として、より広いエリアで事業に取り組むことになることから、そのスケールメリットを利用し、この圏域の特徴を生かした施策を展開していきたい。



▲福井しあわせ元気国体PR看板

また、市のおいしい食の紹介や観光名所、宿泊施設などを紹介し、市ならではの心な心が詰まった「坂井市競技会場周辺ガイドブック」を作成していきたい。

小原 慶之

女性活躍推進について

**副市長** 女性活躍推進法に基づく「坂井市特定事業主行動計画」の平成28年度の取り組みと、女性の活躍をどう進めていくのか。

副市長 平成28年度における管理職の割合は9.1%から20%になった。採用試験に女性の受験者を増やすことや、男性の育児休業などの取得促進、女性が積極的に外部研修に参加できること、管理職に対する意識啓発などを掲げている。

7月に「女性リーダー養成研修」を計画、「(仮称)職業と家庭の両立応援マニュアル」を作成する。

**副市長** 子ども・子育て支援事業計画など市の計画に女性活躍推進の観点を組み込み、その課題に向け具体策を立て取り組むべき。

副市長 子育て支援や介護支援、企業の立場に立った支援措置を充実させていくことが重要課題である。計画の改定時期に合わせて、市の現状と課題を把握し、女性活躍推進の観点で取り組む。

障害者差別解消法について

**副市長** 役所で適切に対応するため、不当な差別的取り扱いや合理的配慮の具体例を盛り込んだ「対応要領」を作成すること。

市民福祉部長 「坂井市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領」の作成に取り

組んでいる。さらに、より具体的な窓口対応マニュアルを作成し、職員に周知する。

また、加齢や傷病により体の不自由な人にも対応できる市役所となるよう努力していく。

**副市長** 地域のさまざまな関係機関などによる「障害者差別解消支援地域協議会」をつくるべき。

市民福祉部長 現在の「坂井地区障害児・者総合支援協議会」に障がい者差別解消の役割を併せ持つ体制づくりをしていく。

運転免許返納について

**副市長** 運転免許自主返納者に対するタクシー券の交付を。

市民福祉部長 コミュニティバスの無料乗車券を交付している。高齢者の外出や外部との関わりを減少については「サロン」や「通いの場」などを利用してほしい。



▲平成28年4月開設「女性活躍推進室」

畑野麻美子

小学校プールの維持管理および施設の老朽化について

**副市長** 過去3年間の小学校のプールの修繕費用は。

教育部長 修繕内容は、ろ過機関係の修繕3件、プール周辺のフェンス修繕が3件で、3年間で305万8000円である。

**副市長** 各学年の水泳授業時間およびプールの年間使用日数は。

教育部長 水泳の授業は、各学年とも平均で10・7時間となっており、使用日数については授業で平均23・8日、プール開放で平均12・3日、年間のプール使用日数は36・1日である。

**副市長** プールの老朽化が進行していく中、中長期的な視野での今後の運用計画は。

教育長 プール新設の費用は1つの小学校で1億2000万円必要であることから、B&G海洋センター、あるいは三国屋内プールや民営プールの活用などを検討し、平成30年度に作成される坂井市総合計画で示していく。

坂井市の観光振興策について

**副市長** 北陸新幹線開業後の市の各観光地の入込客数は。

また前年度対比の増加率は。

市長 市全体で、対前年比50万3000人、11・4%の増加の49万3000人となった。東尋坊で29万2000人の増加、丸岡城で1万7000人の増加である。

**副市長** 市の周遊観光ルート整備について二次交通網の整備が必要と考えるが、所見は。

市長 周遊滞在型観光推進事業において、観光地間を結ぶ二次交通網の充実を図るとともに、広域的な周遊滞在型観光エリアを創出し、リピーター獲得につながる満足度の高い観光施策を展開していく。



▲老朽化が懸念される市内小学校プール

川端 精治

AEDの普及促進について

**副市長** 設置場所と市民への周知は。

市民福祉部長 小中学校24台、児童福祉施設30台、コミュニティセンター28台、運動施設20台、その他の公共施設18台で、市のホームページで設置場所が確認できる。

民間施設の設置場所は、県医師会などが把握しており、今後は市のホームページにリンクを張って、市民への周知を図っていきたい。

**副市長** 多くの市民が公共施設を利用するが、幼児も対応可能なタイプか。

市民福祉部長 機種やバッテリーなどの備品、使用方法などの違いはあるが、基本的にはおとなと子どもの両方に対応できる機器である。

**副市長** 観光地や各種イベント会場における普及状況は。

市民福祉部長 東尋坊や竹田地区において、適切な設置台数や、設置場所が分かるような対応など、消防当局と協議をしていきたい。

イベントを主催する部署と連携して、必要性について協議していく。

**副市長** 普段から設置場所が分かるように、パネルやステッカーを施設の入り口や玄関、外壁など外から見える場所に表示することも必要だと考えるが。

市民福祉部長 サイン関係の整備は大変有効なので、今後できるように検討したい。

**副市長** 設置場所や管理、心肺蘇生法の知識の習得や訓練など、戦略的に普及促進を図ることが効果的である。「AEDの普及促進に関する条例」を定めてはどうか。

市民福祉部長 AEDの適正配置に関するガイドライン（日本救急医療財団）にも、条例制定で普及促進するのは有効な手段であると明記されている。

全国の自治体での取り組みはまだ少ないが、条例の効果などを精査し、検討していきたい。



▲竹田農山村交流センター「ちくちくぼんぼん」ロビーカウンターに設置されているAED

※AED…心臓に電気ショックを与える救命機器。自動体外除細動器。

震災対策について

**問** 福井平野東縁断層帯本部で30年以内に地震が発生する確率は、ほぼ0.07%、規模は、マグニチュード7.6程度と評価されているが、これをどう受けとめているか。

**市長** 地震発生確率値が小さくても決して地震が発生しない訳ではないため、地域防災計画やマニュアルなどを含めて、十分な地震対策がとれるように検討していきたい。

**問** 市内における活断層の位置や地盤の強さなど、どこまで把握しているのか。

**市長** 活断層の詳細な位置などについては、把握できていない。また、活断層の詳細な位置が特定できないことから、市内の指定緊急避難場所などが活断層上にあるかは確認できないのが現状である。

**問** 県の防災計画と坂井市地域防災計画において、地震に対する想定被害に開きがあると思うがどうか。

**総務部長** 県は、平成9年と平成23年度に調査し、平成23年度再調査の数字を使っているが、市の地域防災

計画では、福井平野東縁断層帯が走っていることから、防災会議などで被害の大きい平成9年の数字を使用したものである。今後は県の計画との整合性を踏まえて、地域防災計画の見直しを早急にしたい。



佐藤 寛治

**問** 施設整備時の地質データや下水道管布設時の地質データの一元管理の状況は。

**財務部技監** かなりの量のデータがあり、現在は各所管で管理しているが、これらのデータを十分活用するために一元化・二元管理を進める。



▲平成27年度坂井市防災訓練の様子

教師の負担軽減について

**問** 教育現場での現状について。

**教育長** 1日の平均勤務時間は、小学校で11時間23分、中学校で12時間36分。憂慮すべき結果であり、多忙解消に向け取り組む喫緊の課題である。

**問** 市、教育委員会、学校、地域、家庭でそれぞれ何をすべきと思うか。

**教育長** 市では、学級サポーターや生活相談員などを他の市町以上に市費で配置している。教育委員会として、①調査や報告文書の業務負担軽減を県教育委員会に要望し、市独自のものについても削減を図る。

②保護者などからの要望・苦情などに対し、問題解決への支援体制を構築する。③学級サポーターや生活相談員などの増員または現状を維持する。④学校業務の効率化を図るため、校務支援システムの導入を進めるなど、校務の効率化を目指した仕事のやりやすい環境づくりを推進する。

⑤学校事務共同実施を継続し、先生が子どもたちと向き合える時間の確保に努める。

以上のことを今後の方策として取り組む。学校に対して業務改善に向けた組織的な体制づくりや点検評価の実施などをお願いする。さらに今後、関係機関や地域、家

庭との連携を密にし、外部の教育力を活用する仕組みを拡充する。

キーワード「笑顔について」

**問** 日本一親切で笑顔あふれる坂井市役所であってほしいと思うが。

**市長** 接遇研修の継続的な実施や必要に応じた指導、周知などを行いな

ら接遇能力向上を図る。**問** 児童扶養手当の申請受付について、市民に喜んでもらう対応をとることがだが、その内容と取り組みに対する思いは。

**市民福祉部長** 受付時間は8月1日から8月31日までで、8月1日から8月7日の日曜日は、午前8時30分から正午まで実施する。今回の拡

充は、小さな取り組みだが、「みんなが笑顔で暮らせるまち」の実現に向けたひとつになれば幸いです。



永井 純一



▲教師の研修の様子

公契約条例の制定を求める

**問** 公共工事の入札および契約の適正化の促進に関する法律が制定され、市はこれに基づき、入札の予定価格設定でいわゆる歩切を行わない方針にした。

①市が予定価格の事前公表を行って来なかった理由は何か。  
②歩切を廃止したことで考えられる懸念は何か。  
③業者間の競争性を確保するための手だてをどうとるか。  
④下請け業者などにしわ寄せさせない措置として、公契約条例を制定すべき。

**副市長** ①その価格を参考にして適正な積算を行わず入札するなど、入札参加者の見積もり努力を損なわせるからである。②予算執行額の抑制が困難になることは否めないが、特段の懸念はない。③一般競争入札の対象金額を下げることににより、多くの業者が入札に参加できるよう配慮してきた。今後さらに、研究したい。

④全国的にも制定自治体が増えておるので、県内自治体と連携して研究したい。

安倍内閣の経済政策と影響

**問** ①安倍内閣の三年余において、

学校を核にしたまちづくりについて

**問** 学校選択性についての現状と考え方について。

**教育長** 市では、学校を選択する制度は実施していない。しかし、保護者からの申し出により、相当の理由があると教育委員会が認めたときには、指定された学校以外に就学することができ

る。今後、人口減少などによる地域の実情を見極めながら、適正な学校運営を考えていく。**問** 学校と地域が一体となって、子どもたちをより一層育むための考えは。

**教育長** 昨今の児童・生徒は、地域の歴史や自然に対する関心や地域行事への参加意欲が低くなっていることが指摘されている。平成28年度から、県の補助事業を活用して、全ての小中学校において地域と進める体験推進事業に取り組んでいる。

市としては、小中学生みずからがふるさとの自然・歴史・文化に触れる活動や、地域の人たちと交流し、新たな活力を生み出す人材育成に対して継続して支援する。

農林漁業体験で食生活の向上を

**問** 農林漁業を体験した国民の割合を、現状の36%から40%以上にする数値目標を定めているが、市の現状は。



松本 朗

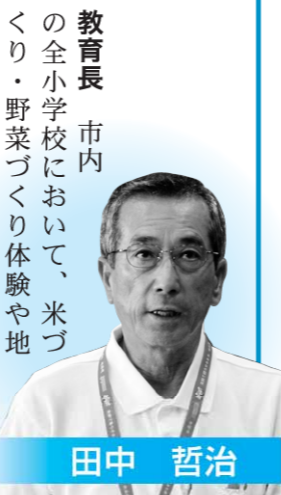
**市民生活と事業所の状況の推移を明らかに。**  
②格差拡大の状況のなか、どういう手立てをとるのか。  
**市長** ①消費者物価指数は平成22年を基準とし、3.3ポイント上昇。平均賃金は上昇し、雇用や所得環境は改善している。

しかし、県内中小企業の景況調査では、平成25年からの景気動向推移を見ると、悲観的な見方が強い。安倍内閣の経済政策について、都市部から地方に位置する坂井市への経済波及効果はまだ小さい。②坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策を実行し、効果が発揮できるように進めたい。



▲新設された福祉総合相談室

※消費者物価指数は、県庁所在地の数値を参照。



田中 哲治

**教育長** 市内の全小中学校において、米づくり・野菜づくり体験や地びき網やワカメ干しなどの漁業体験を実施していることから、国の現状36%と比較するとかなり高い数値と思われる。**問** 小中学生の食の安全関心度について。

**教育長** 市では、食の安全関心度に関する調査は実施していない。しかし、県では児童・生徒・学校において、食に関する意識調査などを実施している。**問** 地域交流事業の現状と今後の考え方について。

**教育長** 米作りなどの農業体験学習は、保護者や地域の方に協力を得て、田植えや収穫祭での餅つきを行って

いる。今後、地域における自然のすばらしさを実感させながら、子どもたちの地域への愛情や誇りに思いを養っていき



▲兵庫地区兵庫小学校運動会



# 第17回 議会報告会

第17回議会報告会を5月24日に、三国東部、丸岡城のまち、春江西の各コミュニティセンターにおいて、5月25日に浜四郷、のうねの郷、兵庫の各コミュニティセンターにおいて開催しました。

3月定例会の報告や平成28年度予算についての説明をしたあと、小グループに分かれて市政全般に関する意見交換を行いました。



▲三国東部コミュニティセンター



▲のうねの郷コミュニティセンター

## 参加者の声

### ○平成28年度予算について

- ・Bーグループの予算の中身を説明してほしい。
- ・多くの事業、箱物を中心に抱えているが、財源は大丈夫なのか。
- ・末政随応寺線に予算がついているが、どこまでの路線の予算になっているのか。
- ・人口が減れば自主財源も下がっていく。ふるさと納税のアイデアを出して納税額を増やせないか。
- ・坂井市で災害が起きた場合に、説明のあった予算は意味のないものになってしまう。その前に災害に備えることが大事。

### ○全般について

- ・城の周囲に空き家が多いので、何らかの対策を講じてほしい。
  - ・古城マラソンの開催日とクリーンキャンペーンの実施日が重なるので、どちらかを別の日にしてほしい。
  - ・春江西幼稚園について、朝夕の保護者による送迎で危険な状態になっている。安全を確保してほしい。
  - ・砂丘地の風によって舞い上がった砂が道路に堆積するなど被害があるので、対策を講じてほしい。
  - ・インシシ以外にもシカ、ハクビシン、サルなども出没している。市において一層の有害鳥獣対策をお願いしたい。
  - ・竹田川の泥を取り除いてほしい。また、草刈りをしてほしい。
  - ・花あかりへの市の捉え方は、耕作者は、採算が合うのか。
- 以上、参加者の声として一部を掲載させていただきました。これ以外にいただきました声については、その場でお答えしたり、後日、調査確認の上、文書でお答えしています。

## 議会報告会を開催します

8月の議会報告会は、6月定例会の議会報告と「合併10年 これからの坂井市を考える」をテーマに、下記の会場で開催します。

市民の方はどの会場でも参加できます。みなさまのご参加をお待ちしています。

開催日時	会場	
8月23日(火) 午後7時～	三国木部コミュニティセンター 2階 ホール	三国町楽円30-1 TEL 81-2778
	竹田コミュニティセンター 2階 集会室	丸岡町山竹田119-3 TEL 67-2543
	大石コミュニティセンター 1階 会議室	春江町上小森6-12 TEL 72-0002
8月24日(水) 午後7時～	坂井木部コミュニティセンター 1階 大会議室	坂井町高柳117-9 TEL 72-0007
	高椋東部コミュニティセンター 1階 会議室	丸岡町板倉45-47 TEL 66-4422
	春江東コミュニティセンター 1階 ホール	春江町中筋24-6 TEL 51-0187

## アンケートから見る議会報告会への意見

- ・誠意ある市政活動をしていると思う。
- ・事前に資料を見てから参加できるとよいと思う。ネットとかを使って。
- ・議員を部門ごとに割り当てを決めて、明確に答えられるようお願いしたい。
- ・議会報告会の開催目的は何か。参加者が一定以上いないと何も達成できない。今一度、開催する意義を考え参加者増大を図るべきである。

## 編集後記

夏休み、小さな集落から子供たちのにぎやかな声が聞こえてきました。子供の声は村全体を明るくし、元気づけてくれます。

元気といえば、2年後に開催される福井しあわせ元気国体・元気大会。坂井市では「笑顔のおもてなし」をキャッチフレーズに、市民と一体となって盛り上げていきますが、議会でも、今回の6月定例会でPRポロシャツを着て一般質問を行いました。

その様子は本紙でもお分かりになると思います。市民に親しみやすい、分かりやすい開かれた議会を目指して、議会だよりの紙面づくりをしてまいりますので、どうぞ今後ともご愛読ください。

(前川)



ご当地はびりゅう